



『80歳を超えて
ゴルフをする兄弟』

菱野区 原田 進さん
満さん



今回は、80歳を超えて兄弟でゴルフを楽しむお二人を紹介します。

菱野区にお住いの原田さん兄弟は兄・進さんが85歳、弟・満さんが81歳になります。兄・進さんは昭和6年生まれで戦争体験もしておりますし、食物がない貴重な体験もしています。現役の頃は鉄筋

工事業業を起こし、日本全国を回って多くのビル・発電所等の工事を請け負っていました。

現在は第一線を退き、すきなゴルフ等をしています。

弟・満さんも、兄・進さんと一緒に仕事をしており、関東・東北・北陸と全国を回って来られました。

兄・進さんは、昭和48年からゴルフを始めたとのことですが、始めるにあたって17万円もするゴルフクラブを買い仲間とプレイして来たとのことです。「東北クラシックのハンデは15ですが、今はだめですね」(本人談)。平成5年5月5日小海リエックスゴルフクラブ14番ホールでホールインワンを出し、記念コンペをし、ホテルでセレモニーをしたのが、「一生一度の宝物の」と話されました。

小諸高原ゴルフコースで、1オーバーで回ったのがベストと伺い、当時はかなりの上級者と思われます。

今の生きがいは、ゴルフ・麻雀・マレットゴルフ・カラオケと多彩ですが、ゴルフで88歳の時にエージシュートを記録したいと伺いました。

弟・満さんも同時期にゴル

フを始めて一緒に各ゴルフ場を回っており、ベスト80台を出しています。今もゴルフ・麻雀・マレットゴルフと多彩に活躍されており、先日も集会所で麻雀をしていましたが区の有志(遊び仲間かな)いいですね。

お二人とも菱野のゴルフクラブに参加しており、私も一緒に回ったことがあります。80歳代でまだまだ一線でできると思います。先日のゴルフでドラコン2本・ニアピン1本を持って行きました。さすがに最終ホールに来ると疲れは見えますが、自分が80歳の時ゴルフが出来るのかと、うらやましく思います。

今でもゴルフ・麻雀は月2〜3回、マレットゴルフは時期になるとほぼ毎日。好きなことで体を動かすが、元気で長生きのコツかもしれません。

編集委員 櫻井 大一



川柳浅間吟社

- やんわりと一声添えたアドバイス 荻原 栄子
- 悪夢と言う試練を神に与えられ 掛川 たゆ子
- 良い人になりたがってる嘘笑い 桜井 眞紗子
- 給料の袋の中に聞く悲鳴 土屋 正示
- 共に生きつくり目立つマイホーム 中山 紀子
- 抱いた夢背中を押した始発駅 小林 峰男



和田短歌会

- 雑音も調べもワルツとなりて吹く 風の音符は枯葉ひらひら 小林 嘉子
- 落葉踏む音のかすかに聞こえる頃 「じじは元氣」と少女来る頃 小川 嘉子
- 手入れよく睦みあいたるふたり逝き 白壁の家さざん花の咲く 星野 節子
- 野仏の首に草の実首飾り いつしか赤き布に替えあり 遠山 静子
- 久々に娘とつゝき合ふ鍋の中 肉も豆腐も青菜も踊る 遠山 静子
- 赤ピンク白のセーター日々着替へ 己れの老いに反撥をなす 遠山 静子